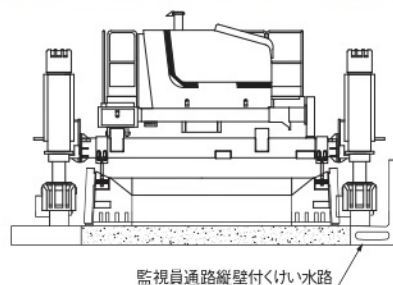


スリップフォーム工法



スリップフォーム工法とは成型機に鋼製の型枠（モールド）を取り付け、モールド内にコンクリートを投入し締め固めると同時に成型機を前進させることで、同一断面の構造物を連続的に打設していく工法です。

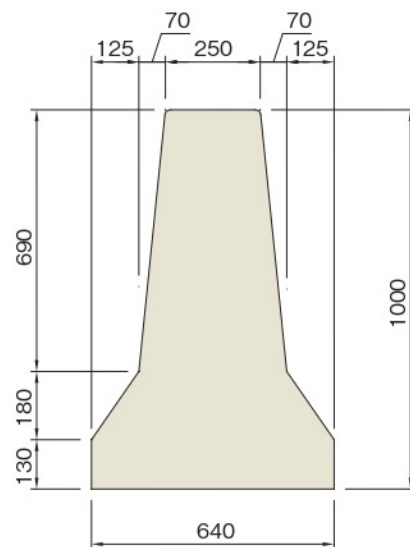


▶ 特長

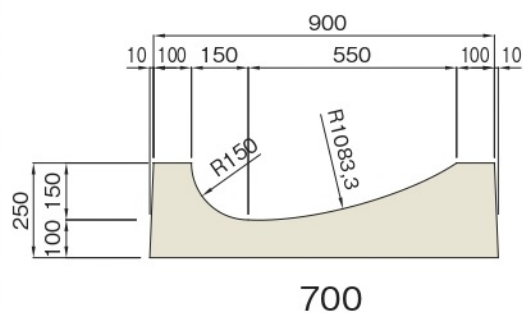
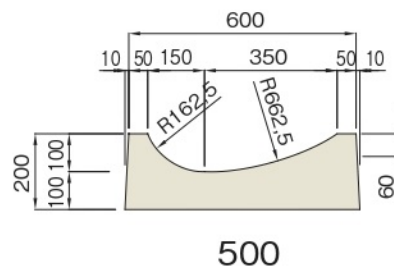
- 1 環境保全・省資源化**
木製型枠を使用しないので、森林破壊に対する資源保護に貢献できます。
- 2 工期短縮**
施工速度が大きく、大幅に工期を短縮可能です。
供用中道路等の工事では交通障害期間を短縮することが可能です。
トンネル内では監視員通路縦壁付くけい水路との組み合わせでより一層の工期短縮が可能となっています。（くけい水路P318参照）
- 3 構造的利点**
構造物の平面線形が曲線であっても容易に施工することができます。
在来工法に比べ水セメント比が小さく空気量の多いコンクリートを使用する為、耐凍害性の高い構造物となります。

▶ コンクリート防護柵

スリップフォーム工法の代表格。NEXCOでは標準採用となっています。



▶ ロールドガッタ（皿型水路）



カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

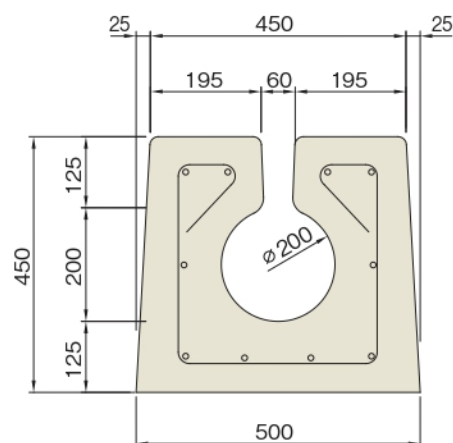
建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料

▶ 円形水路 (φ200・φ300・φ350・φ400)

NEXCOの用排水標準図集に採用されました。



注: 砕石基礎を標準とする。
砕石基礎が無い場合は底版を20mm厚くする。

▶ コンクリート舗装



取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

お問合せ：建設事業部
TEL：075-631-3327

▶ L型街渠



▶ 1日当たりの施工延長(参考資料)

種別	構造物名	仕様	一日当たりの施工延長		断面積参考 (m ²)
			新設路線 (m/日)	供用中路線 (m/日)	
無筋	コンコース		327	264	0.021
	縁石	A	358	290	0.039
	縁石	B	343	277	0.050
	縁石	C	327	264	0.072
	ロードガッタ	500	327	264	0.086
	ロードガッタ	700	311	250	0.152
	側溝	300×300	200	154	0.116
	L型街渠		294	235	0.177
	側帯工	t=150	275	219	0.128
有筋	円形水路	φ200	219	180	0.184
	円形水路	φ300	199	162	0.252
	円形水路	φ350	170	136	0.316
	円形水路	φ400	154	123	0.378
	監視員通路	170×1,000	154	123	0.213
	コンクリート防護柵		154	123	0.443

カルバート・
下水道擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料